



保護者負担軽減の現状 各地区調査から考える

～保護者負担軽減の地区格差改善にどう取り組むか～

給食費が無償となり、保護者負担は大きく軽減されました。しかし、弁当持参の家庭への補助など改善すべきことはまだあります。また、自治体ごとに保護者負担軽減のための予算にも大きな違いがあり、自治体格差が生まれています。

修学旅行費用を支給する自治体や、標準服の費用を支給する自治体、副教材費を支給する自治体がある一方、修学旅行費に補助金が支給されない自治体や、校外学習のバス代に補助金が支給されない自治体があり、保護者負担金には大きな差が生まれています。そこで今回の教研では、各地区の現状を調査し、地区の課題を明らかにして、今後の要求につなげていきたいと考えます。

自治体の予算規模や学校数によって要求の仕方も違ってきますが、地教委や教員に保護者負担金の現状を知ってもらい、改善策を提案していく必要があります。各地区の実態をつかみ、現状を意見交流して、今後の改善策を検討します。どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

日時 2025年10月24日(金) 18時15分～20時

場所 調布市文化会館 たづくり 303 会議室

※オンライン Zoom 参加併用 (事前申込 10/20 締切)

〔京王線「調布」駅南口 徒歩3分〕

内容 ・保護者負担金への自治体の補助 各地区調査報告

・意見交流



◎ 会場参加の方は直接お越しください。

オンライン Zoom 参加の方は 10月20日までに事前参加申込をお願いします。

【Email : kitahigajimu2021@gmail.com】

※当日、Zoom 回線不具合で支障が出る場合があります。ご了承ください。

主催：都教組北多摩東支部事務職員部



〔調布市文化会館たづくり 地図〕



駅前開発工事等により、駅前状況が異なる場合があります。あらかじめご承知おきのうえ、お気をつけてお越しください。